

日本サーモロジー学会 第31回大会（大阪）のご案内

寒冷の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、日本サーモロジー学会第31回大会を関西国際空港の対岸、大阪泉州の関西医療大学でお世話させていただくこととなり、誠に光栄に存じます。

今回のテーマは、サーモグラフィのさらなる発展・飛躍を期待して『サーモグラフィ再興への新たな展開を探る』としました。

私がサーモグラフィに出会ったのは、約15年前、麻酔科疼痛外来でブロックの効果判定に用いたのが最初でした。その当時、研究では有用とされていましたが、高価で、また移動についても困難を極め、一般の外来診療では様々な環境の変化を受けるため役立たないとまで言われておりました。時が流れ、これまで使用してきたものと比べ、性能もよく、取り扱いについても簡便なサーモグラフィの開発が進み、現在私が身をおく鍼灸分野で、今後の臨床にパルスオキシメーターと同様にサーモグラフィが必要不可欠になるとも考えています。サーモグラフィは年々、小型・軽量化、高性能化しており、様々な領域での応用が期待でき、今まで測定が困難であった温熱情報を得ることができるようになり、サーモグラフィの再興に繋がると考えます。

そこで、シンポジウムでは「様々な場面で応用可能なサーモグラフィ」を企画しました。矢尾板達也様((株)ケン・オートメーション代表取締役社長)には「赤外線カメラを使用した非破壊検査」、竹内 聡先生(浜の町病院 皮膚科)には「皮膚科領域におけるサーモグラフィの有用性」、岡田志麻先生(近畿大学理工学部機械工学科 講師)には「サーモグラフィを自律神経指標とした睡眠評価」について、それぞれ異なる領域からの講師を迎え、サーモグラフィの新たな展開を模索してまいります。

教育講演には木村彰一様(日本アビオニクス(株)赤外・計測事業部 営業部 営業推進グループ マネージャー)に、「工業用サーモグラフィの医療分野への適用時の注意点について～サーモロジーの適用範囲の拡大に向けて～」を、特別講演には長年研究にサーモグラフィを用いてこられた金井成行先生(関西医療大学 保健医療学部 教授)に「疼痛に対する磁気治療の経験—サーモグラフィを用いて—」を、ご講演頂く予定でございます。

もちろん、学会の主役は一般演題のディスカッションであります。是非、会員の皆様には日ごろの診療・研究の成果を一演題でも多くご発表いただき、サーモロジーの発展にご尽力いただければ幸いです。

タイトなスケジュールではございますが、泉州の地で有意義な学会にしたいと思っておりますので、奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。

2013年12月吉日

日本サーモロジー学会 第31回大会（大阪）
大会長 榎田高士（関西医療大学 保健医療学部 教授）

日本サーモロジー学会 第31回大会（大阪）の概要

会 期：2014年6月6日（金）～6月8日（日）

日本サーモロジー学会 第31回大会（大阪） 6月7日（土）・8日（日）

第33回臨床熱画像検査法講習会 6月6日（金）・6月7日（土）

会 場：関西医療大学 附属診療所 4階講堂、3階教授会室

大阪府泉南郡熊取町若葉2-11-1

お問い合わせ先：日本サーモロジー学会 第31回大会（大阪）事務局

〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉2-11-1 関西医療大学

E-mail:sakaguti@kansai.ac.jp 学会HP：<http://www.tjsot.jp/>

プログラム：

特別講演；「疼痛に対する磁気治療の経験—サーモグラフィを用いて—」

金井成行（関西医療大学 保健医療学部 教授）

教育講演；「工業用サーモグラフィの医療分野への適用時の注意点について～サーモロジーの適用範囲の拡大に向けて～」

木村彰一

（日本アビオニクス（株）赤外・計測事業部 営業部 営業推進グループ マネージャー）

大会長講演；「関西医療大学におけるサーモグラフィ研究の歩み」

榎田高士（関西医療大学 保健医療学部 教授）

シンポジウム；「様々な場面で応用可能なサーモグラフィ」

座長 三宅 仁（長岡技術科学大学 工学部 経営情報系 教授）

「赤外線カメラを使用した非破壊検査」

矢尾板達也（（株）ケン・オートメーション代表取締役社長）

「皮膚科領域におけるサーモグラフィの有用性」

竹内 聡（浜の町病院 皮膚科）

「サーモグラフィを自律神経指標とした睡眠評価」

岡田志麻（近畿大学 理工学部 機械工学科 講師）

一般演題

機器展示

ホール前のエントランスにて、機器展示を行う。

6月7日（土）9：00～17：00 6月8日（日）9：00～12：00

参加費

会 員 8,000円 非会員 10,000円

懇親会 6月7日（土）17：30～19：30 会費2,000円

理事会 6月6日（金）17：00～19：00 診療研究棟3階 教授会室

評議員会 6月7日（土）12：00～13：30 診療研究棟3階 教授会室

日本サーモロジー学会 第31回大会（大阪）
一般演題応募要領

（演題名：中央揃え 14point MS ゴシック）

講演者（所属その1）、共同演者（所属その2）
（著者名（所属）：中央揃え 12point MS 明朝、講演者は太字）

（本文：10point MS 明朝）

1. 応募条件

一般演題発表者は、学会員・非学会員を問いません。奮ってご応募下さい。

2. 投稿方法

E-mail への添付による投稿のみ受け付けます。用紙・フロッピーでの登録は受け付けません。抄録は原則として、MS-Word ファイルまたは PDF ファイル（可能であれば両方）にて、下記のアドレスに E-mail で送付してください。E-mail 本文には、演題名、発表者氏名、所属、電話番号、E-mail アドレスを明記してください。演題受付後に折り返し E-mail でご連絡いたします。1週間以内に演題受付の連絡がない場合は、事務局までお問い合わせください。

3. 原稿の規格

抄録は本原稿のように、A4 サイズ 1 ページとし、余白は左右それぞれ 20mm、上 25mm、下 20mm としてください。

「演題名」は 14 ポイント MS ゴシックの活字を使って中央揃え。

「著者名・所属」は 12 ポイント MS 明朝の活字を使って中央揃え。

「抄録本文」は 10 ポイント MS 明朝の活字を使って両端揃え。

本文は 1 行 50 文字程度が適当です。

4. 図表

図表はファイルをそのまま本文中に貼り付けてください。なお抄録集はモノクロ印刷となります。

5. 応募締め切り

2014 年 4 月 11 日（金）

6. 日本サーモロジー学会 第31回大会（大阪）事務局

〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉 2-11-1 関西医療大学 保健医療学部

担当：坂口俊二

TEL/FAX 072-453-8409

7. 演題応募先：E-mail: sakaguti@kansai.ac.jp